

「人・社会・自然」ハーモニープロジェクト

住民主体で活性化を行う地域

美和



2016年度 活動報告会

2017.5.31 (水) 美和工芸ふれあいセンター



森と地域の調和を考える会・「木の駅プロジェクト美和」実行委員会

— 目次 —

- I. 美和地域の現状
- II. 美和地域の資源
- III. 2016年度活動報告
 - 1. 「木の駅プロジェクト美和」
 - 1) 出荷の状況
 - 2) 出荷量の推移
 - 3) 「モリ券」の発行・利用状況
 - 4) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題
 - 5) 森林教室の開催
 - 2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み
 - 1) 「岡山邸」庭園整備事業
 - 2) 「高部館」整備事業
 - 3) 「中世の城郭高部館」整備事業
 - 4) 「河内城・向館」整備事業
 - 5) 県北芸術祭応援事業
 - 6) 豊島区交流事業「ウッドジョブ」林業体験
／シダレザクラ剪定
 - 7) 「地域の魅力探索ツアー」イベントの開催
 - 8) 「歴史探索ツアー」イベントの開催
 - 9) 「河内城・河内城向館・鷺子宿」パンフレット制作
 - 10) イベント及びボランティア参加人数
- IV. 2017年度活動概要
- V. 5年間の振り返り
 - 1. 活動と経済効果
 - 2. 当会へのご支援
 - 3. これまでの主な報道
- VI. 地域活性化を成功させるのは「人」
- VII. 当会の目指すところ
- VIII. おわりに



I. 美和地域の現状

常陸大宮市美和地区は、森林面積が地区の80%を超える自然豊かなところである。しかしながら、過疎化の進行スピードが早く、この約12年間で人口減少率は約23.8%となっている。更に、常陸大宮市全体での高齢化率は31.5%※であるが、当美和地区においては約40%と想定され、当地域の衰退が一段と加速している状況となっている。



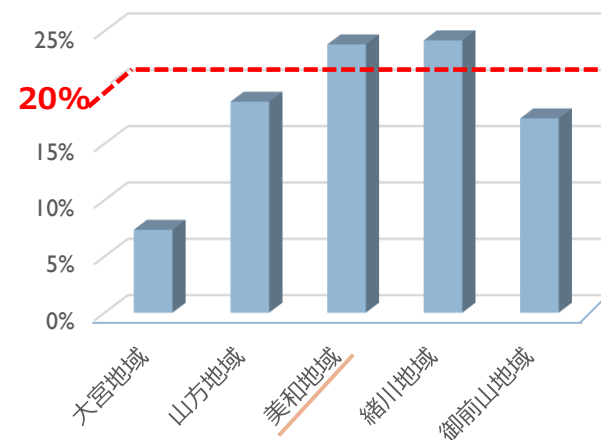
常陸大宮市の常住人口推移

(単位：人)

	平成17年	平成28年	平成29年	直近1年間の増減	平成17年 比較	
					減少数	減少率
大宮地域	27,284	25,463	25,276	-187	-2,008	-7%
山方地域	7,559	6,299	6,144	-155	-1,415	-19%
美和地域	4,285	3,364	3,265	-99	-1,020	-24%
緒川地域	4,432	3,454	3,361	-93	-1,071	-24%
御前山地域	4,264	3,600	3,529	-71	-735	-17%
合計	47,824	42,180	41,575	-605	-6,249	-13%

※人口情報は常陸大宮市ホームページ統計データより(各年5月1日基準) ※高齢化率31.5%は健康常陸大宮2 計画人口の推移と推計より参照

<減少率>



II. 美和地域の資源

<p>「豊かな自然」</p> <p>森の恵み</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 森林資源 木材、木質バイオマス、薪、チップ、オガ粉■ 食料 木の実、山菜、キノコ、アケビ、沢ガニ、ヤマメ■ 水 山から湧き出す自然水、沢水	
<p>「里山」</p> <p>日本の原風景</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 食料 米、麦、そば、野菜、果物、木の実、山菜、川魚■ エネルギー 薪、雑木、水車■ 地域の絆 地域で助け合う	
<p>「歴史」</p> <p>歴史的価値</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 開発の遅れが歴史的価値を現存させた <p>高部の街並み、高部館、向館、造り酒屋、洋館、旧宿場町、お寺など</p>	

Ⅲ. 2016年度活動報告

1. 「木の駅プロジェクト美和」

1) 出荷の状況

(単位 : m3)

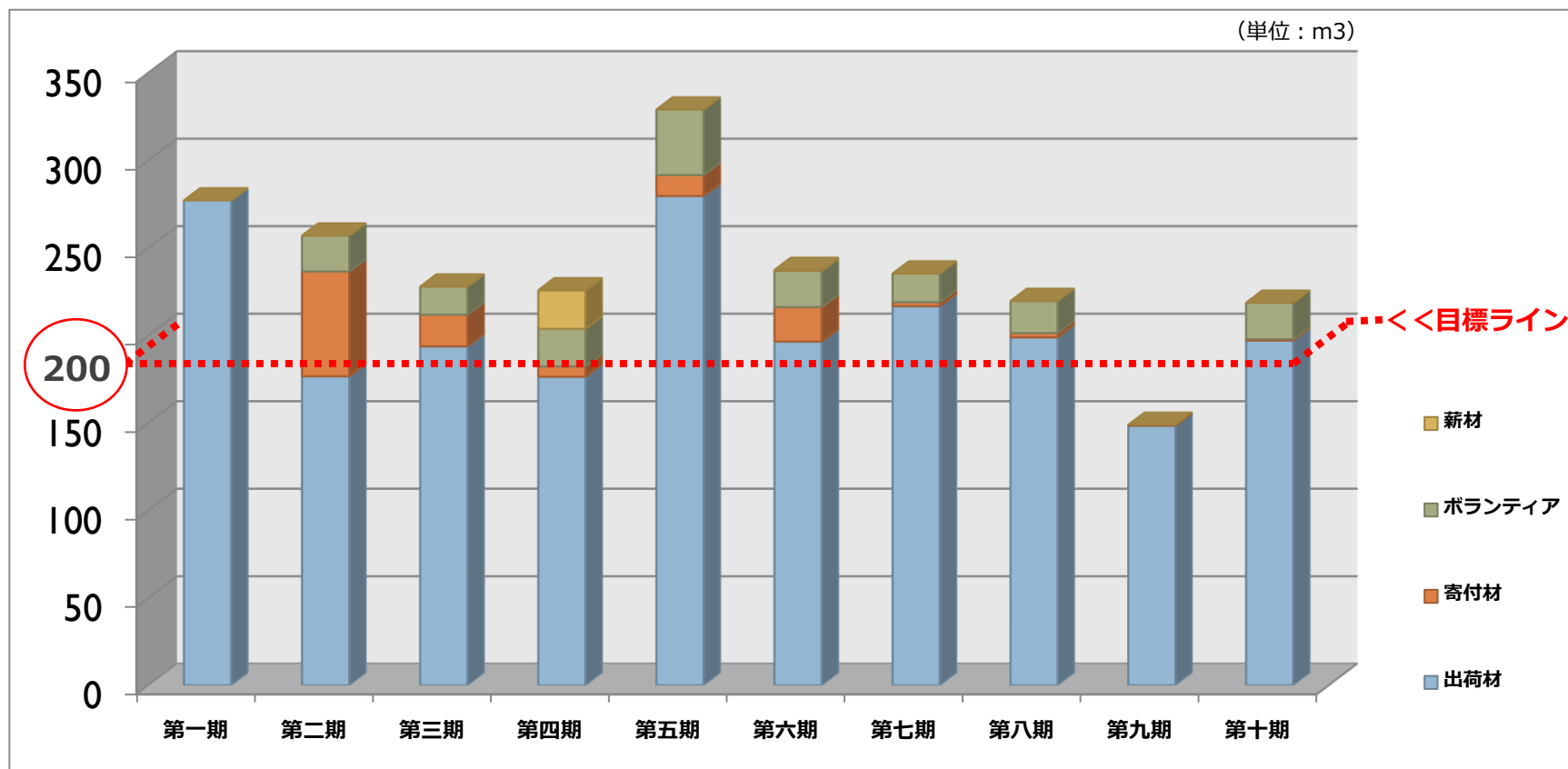
期	出荷材	寄付材	ボランティア	新材	計
第九期	148.28	0.42	0.0	0.0	148.70
第十期	196.90	0.78	20.77	0.0	218.45
通期合計 (第一期～第十期)	2,059.40	121.51	171.43	22.52	2,374.86

【実施期間】 第九期 : 2016.5.28～2016.8.31 / 第十期 : 2016.10.22～2017.3.31

Ⅲ. 2016年度活動報告

2) 出荷量の推移

通期出荷累計：2,374.86 m3 軽トラ：4,562 台 ※



※軽トラ1台あたり“0.5m3”で計算しています。

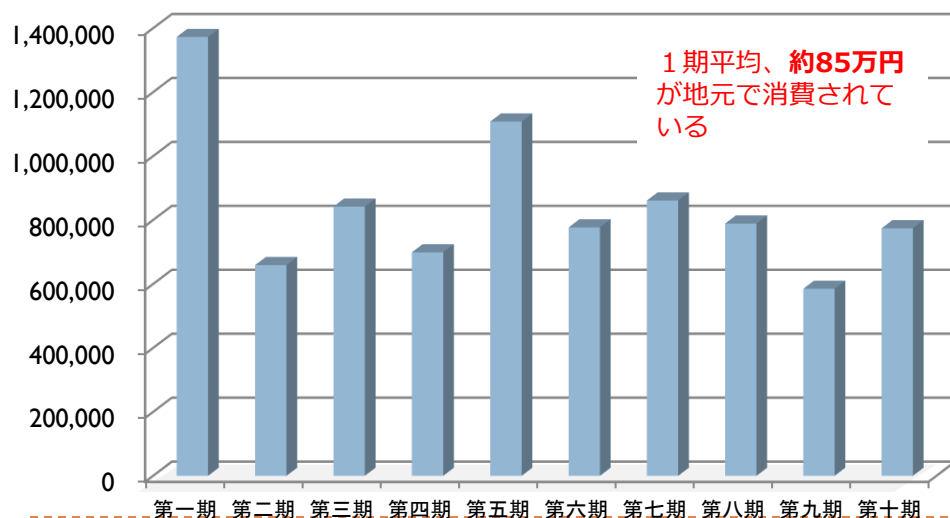
Ⅲ. 2016年度活動報告

3) 「モリ券」の発行・利用状況（経済効果）

期	モリ券	青モリ券	赤モリ券	発行枚数	金額換算
第九期	471 枚	58 枚	59 枚	588 枚	588,000円
第十期	625 枚	78 枚	78 枚	781 枚	781,000円
通期合計	7,389 枚	756 枚	303 枚	7,863 枚	8,476,500円

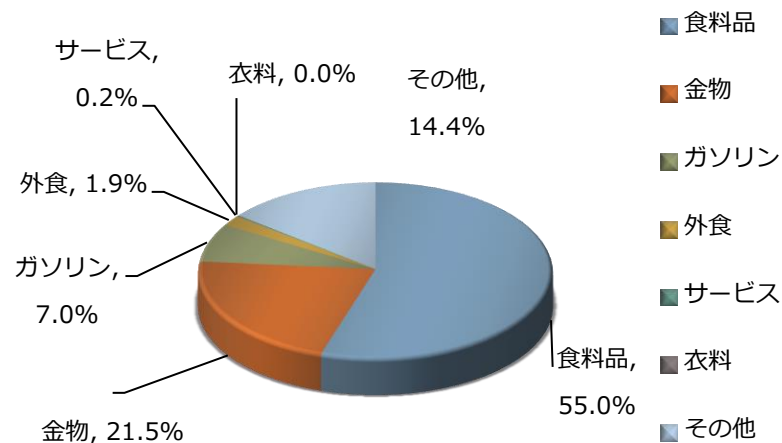
(単位：円)

＜流通額推移＞



※第1期のみ青モリ券は1,500円で発券

＜利用状況＞



Ⅲ. 2016年度活動報告

4) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題

【成果】

- ・ 第九期は残念ながら目標としていた出荷数量200m³をクリアすることができなかったが、第十期はその不足分も補う形で確保することができた。
- ・ 森林整備と地域への経済効果は確実に広がっている。
- ・ “地域の問題は地域で解決する”という地域自治の意識が根付いてきており、ボランティア活動への協力など地域の絆も深まってきている。

【課題】

- ・ 作業中の安全確保が第一優先事項であり、そのための講習は継続して実施する。
- ・ 出荷者は概ね決まってしまうているが、当会が実施する他のイベントへの協力者（関心のある方）も増やしていく。
- ・ 限られた資源の中で、当プロジェクトの活動の幅をどのように広げられるか検討する。
- ・ 当プロジェクトの収支改善に引き続き取り組む。

Ⅲ. 2016年度活動報告

5) 森林教室の開催



2016.9.16 美和小学校（5年生）
木質バイオマス利用事業見学

2016.12.16
大賀小学校（5年生）
宮の郷工業団地見学



2017.1.19
美和小学校（5年生）
間伐体験



【成果】

今期の森林教室は、間伐体験のほか市が進める「木質バイオマス利活用事業」の内容について知ってもらうため、山林での伐採からチップ工場、宮の里工業団地をめぐる木材がどのように私たちの生活に利用されているのかを学んでもらうこととした。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

2. 「森と地域の調和を考える会」の取り組み

1) 「岡山邸」庭園整備事業

整備作業の様子



【成果】

庭園内の整備（除草、剪定等）を行ったことで庭園が少しずつ復活してきている。様々なイベントで庭園見学の機会も増えてきておりやりがいにもつながっている。今後も東屋の修繕なども含め年間を通じて少しずつ整備をしながら庭園の魅力を高めていく。

Ⅲ. 2016年度活動報告

2) 「高部館」整備事業

整備作業の様子／支障木片付けと木製ベンチ製作 (2016.7.23)



【成果・課題】

高部館を整備して以降、多くの方が見学に来られるようになった。そのため支障木の撤去を行い、またそれらを利用して休憩用ベンチを作成した。地権者のご協力により、間伐が行われたことで見晴らしも良くなり観光資源の価値が高まっている。尚、入山者が増えることによる環境問題（ゴミ・火気）への十分な注意が必要となる。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

3) 「中世の城郭高部館」整備事業（東日本鉄道文化財団事業）



整備作業の様子（2016.2.19）



入り口の遺構説明板



頂上の遺構説明板



歩道の安全対策



案内板

【成果】

公益財団法人東日本鉄道文化財団 地方文化事業支援の認定を受け、「中世の城郭高部館整備事業」として遺構説明版の設置、登山道の案内板設置並びにロープ等による安全対策を行った。多くの人に高部館の歴史を知って頂くことができるようになった。

Ⅲ. 2016年度活動報告

4) 「河内城・向館」整備事業

整備作業の様子 (2016.9.27/2017.1.11)



【成果】

高部館・向館に続き、地権者のご協力を得て「河内（こうと）城・向館」の整備を開始した。山城ブームを追い風に新たな観光資源化を目指す。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

5) 県北芸術祭応援事業

「美和会場（旧美和中）」整備作業の様子（2016.7.30～31）



【成果】

初めて開催された「茨城県北芸術祭」の会場となった美和会場（旧美和中）、家和楽会場、西塩子回り舞台などの清掃や植栽の剪定、会場警備などの協力を行った。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

6) 豊島区交流事業「ウッドジョブ」 林業体験／シダレザクラ剪定

林業体験 (2016.10.15)



シダレザクラ剪定 (2017.2.25)



【成果】

交流都市である豊島区の方々に林業を知って頂くことを目的に企画、実施した。総勢55名の方に参加頂き、高性能林業マシンの見学、間伐、シダレザクラ剪定作業等の体験をして頂いた。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

7) 「地域の魅力探索ツアー」イベントの開催 (参加者数：53名)

2016.11.5



【成果】

常陸大宮市と連携し、県北芸術祭応援事業の一つとして高部宿や尺丈山を巡るツアーを企画した。定員を超える方々に参加頂き盛況となった。参加者の評判も良く、魅力的なルートであることを再確認できたこともあり、今後の企画にも反映して美和地区の魅力を発信していく。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

8) 「歴史探索ツアー」イベントの開催

(参加者数 : 87名)

2017.3.5

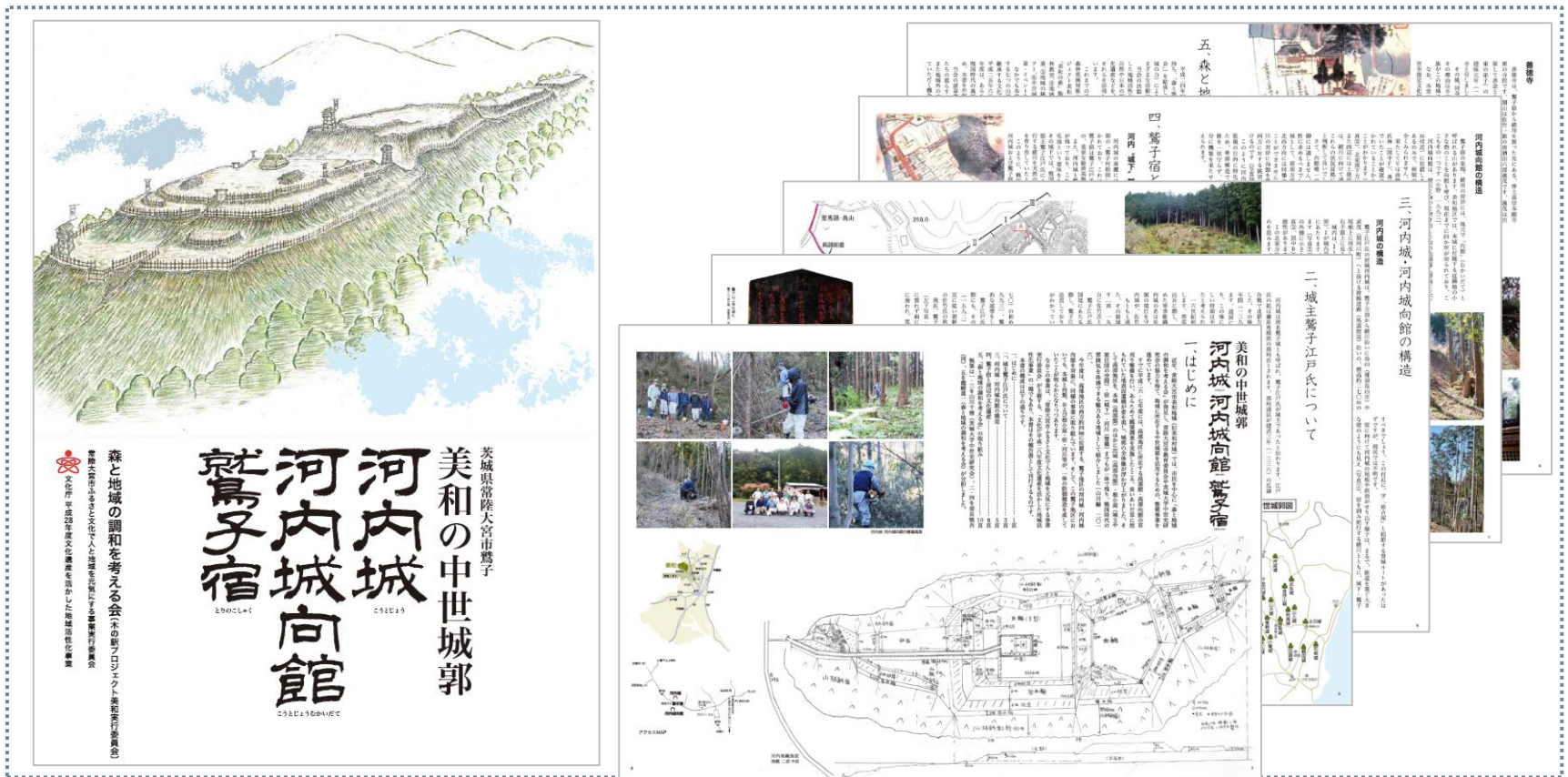


【成果】

文化庁・常陸大宮市浪漫文化街並みづくり事業の一環として、新たに整備した河内城跡及び鷲子山上神社祇園祭で使用する山車の見学、善徳寺など街並みを巡るツアーを企画した。定員の2倍近くの方々に参加頂き盛況となった。引き続き遺構の整備を行い、より魅力を感じられるようにしていく。

Ⅲ. 2016年度 活動報告

9) 「河内城・河内城向館・鷺子宿」パンフレット制作



【成果】

今回新たに整備を行った「河内城・向館及び鷺子宿」についてパンフレットを作成した。



Ⅲ. 2016年度活動報告

10) イベント及びボランティア参加人数

活動	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	延べ人数
イベント 参加者数	80	210	275	710	1,275名
ボランティ ア参加者数	203	284	265	204	956名

【成果・課題】

毎回定員を上回る方々に参加頂いており、予想以上の成果となっている。参加者も年々増加傾向にあり、地域の魅力を知りたいという潜在的な需要があることが確認できた。これまでも多くのボランティアの方々に協力頂き実施することができたが、イベント参加者が増加する中でガイド育成を含めた当会の体制強化が課題となっている。

IV. 2017年度 活動概要

今後の活動概要 ①

活 動	取り組み	目 標
木の駅プロジェクト 美和	第十一期：2017年6月10日 ～8月31日 第十二期：2017年10月21日 ～2018年3月31日	200m ³ 以上/ 期
森林教室	年3回 実施予定	参加人数 合計 70名 以上
環境教育	森林とつながりの深い河川の役割・大切さを学ぶ機会として年1回実施予定	森林教室と連携 水質・生態系調査
小田城整備事業	整備、専門家による調査を実施	パンフレット制作 イベント実施
街並み保存事業	岡山邸整備：2017年9月	継続整備

IV. 2017年度 活動概要

今後の活動概要 ②

活 動	取 組 み	目 標
中世の城郭高部館整備事業	東日本旅客鉄道文化財団支援事業：第2期岡山邸庭園整備、高部宿案内板設置を計画	岡山邸庭園整備案内解説板設置
薪販売事業	道の駅「北斗星」常設展示販売・販促イベント開催	2017年10～11月 (売上30万円)
イベントの実施	①第2回ウッドクラフトフェア美和 ②「地域の魅力探索ツアー」教育委員会連携 中世の高部宿、城郭巡り	①2017年10～11月 ②2017年10月21、22日
	③「歴史探索ツアー」 小田野城・小田野地区文化財巡り	③2018年2～3月予定
「鶯子和紙」再生に向けて	和紙製造が盛んだった時代を振り返り和紙づくりの復活、伝承に向けた調査を実施。	調査・研究
農業への挑戦	花栽培など耕作放棄地の有効活用方策の調査研究を行う。	調査・分析

V. 5年間の振り返り

1. 活動と経済効果

活 動	指 標	実 績
木の駅プロジェクト美和	軽トラ台数・出荷材積	4,562台 : 2,476m ³
モリ券	発行枚数・金額	7,863枚 : 847万円
森林教室	学校数・参加生徒数	延べ8校 : 510名
地域資源発掘	中世の城郭	高部館・高部館向館 河内城・河内城向館
街並み保存	整備回数	計7回 : 岡山邸庭園整備等
実施イベント	回数並びに参加者数	全12回 : 1,275名
発行パンフレット	種類及び発行部数	4種類 : 7,000部
ボランティア参加者	参加者(延べ人数)	956名

V. 5年間の振り返り

2. 当会へのご支援（補助金・助成金・寄付金等）

団 体	支援事業名等	活用事業
常陸大宮市	総務省「過疎地域自立活性化推進事業」 活用事業	新製造施設建設
	高井勝利 森を活かし緑を育む基金	森林教室
	浪漫文化街並みづくり事業	地域の魅力探索ツアー
文化庁	文化遺産を活かした地域活性化事業	高部館整備事業、河内城整備事業、歴史探索ツアー
公益財団法人 東日本鉄道文化財団	地方文化事業支援	中世の城高部館整備事業
公益信託「エコーいばら き」環境保全基金	（常陽銀行） 環境保全活動および調査研究、普及啓発	街並み保存修復事業
常陽銀行	2012年 常陽ビジネスアワード 奨励賞	当会の活動全般
筑波銀行 大宮支店	寄付金	遺跡・遺構調査

（遺跡・遺構調査等のご協力）

茨城大学 人文学部 高橋修教授研究室

中世の城郭調査、イベント応援

V. 5年間の振り返り

3. これまでの主な報道

- ・ 新聞（茨城、読売、朝日各社）
- ・ 機関紙（林業関係、金融系、関東財務局ほか）
- ・ フォーラム参加
- ・ テレビ

NHK水戸「木の駅プロジェクト美和（スタート時）」
BSジャパン（テレビ東京系）「百年の街並み」
NHK総合「にっぽん紀行」

- ・ ラジオ
茨城放送（IBS）
- ・ 視察関係

林野庁視察（2016年10月）
鉾田市文化財審議会・社会教育委員会（2015年）
関東財務局水戸事務所（2015年）
山梨県小菅村村長（2015年）

【課題】

当会の活動は、多くのメディアに取り上げて頂きました。引き続き、地域に活力を与えられるよう、そして他の地域の参考になるような活動を目指して行きます。



2015.4.3 読売新聞



2017.2.26 茨城新聞



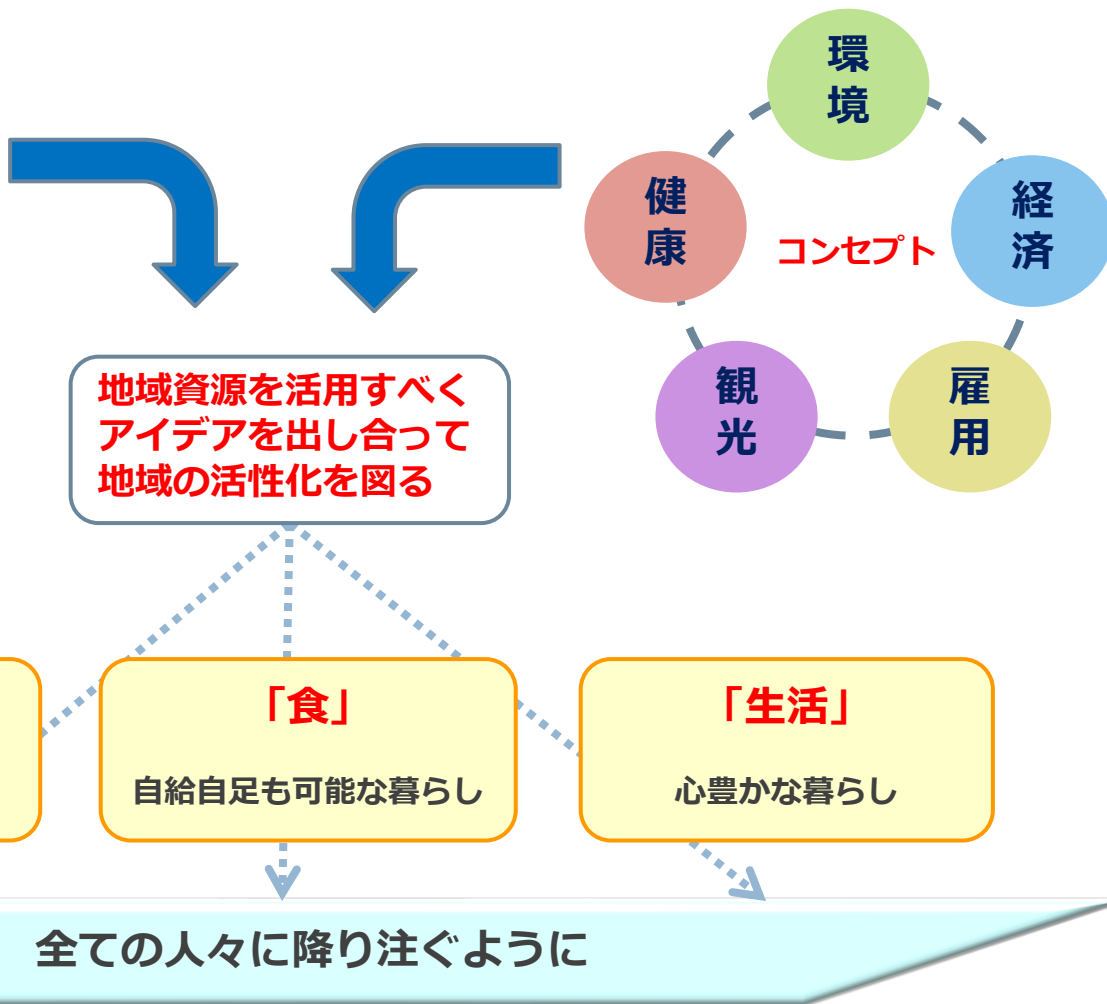
2016.6.8 朝日新聞

VI. 地域活性化を成功させるのは「人」



VII. 当会の目指すところ

「豊かな自然」 森の恵み	
「里山」 日本の原風景	
「歴史」 歴史的価値	



VIII. おわりに

これまでの活動を振り返って（代表より）

引き続き、当会活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

森と地域の調和を考える会
「木の駅プロジェクト美和」実行委員会 一同